

6 地域における取組み

東京2020大会に向けては、新宿区内の地域団体の皆さんによる主体的な気運醸成の取組みも数多く行われました。区では、さまざまな形で地域の皆さんによる活動への支援を行いました。

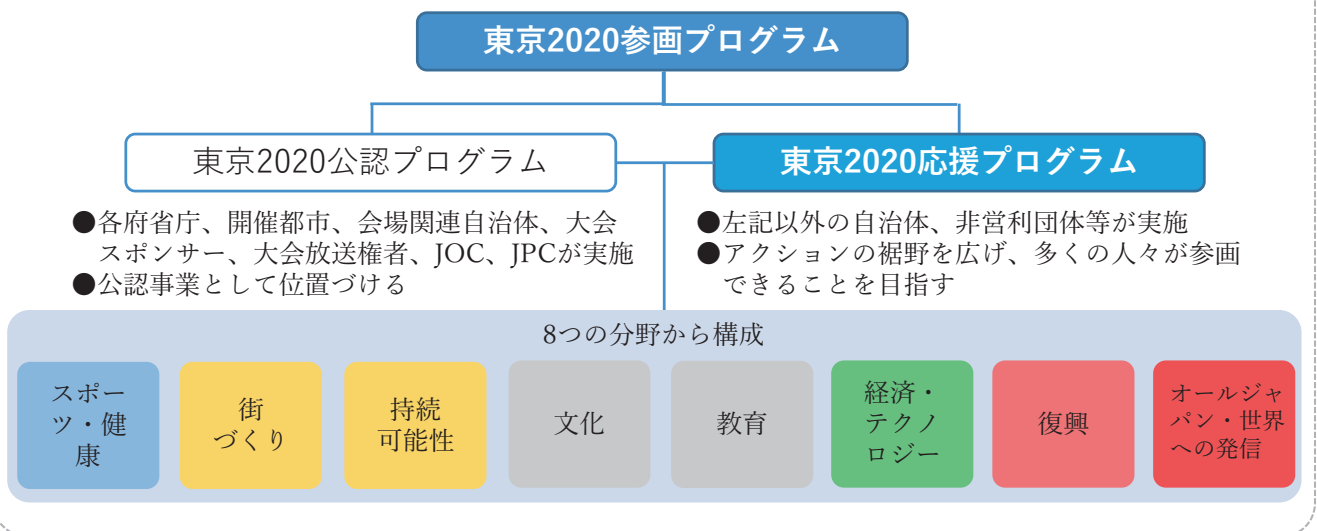
(1) 東京2020参画プログラム活用の促進

東京2020組織委員会は、東京2020大会の大会ビジョンのもと、スポーツに限らず文化芸術や地域での世代を越えた活動、被災地への支援など、参加者自らが体験・行動し、未来につなぐプログラムとして、「東京2020参画プログラム」を平成29年度から開始しました。

区でも、町会・自治会、商店会等へ「東京2020応援プログラム」の周知を図り、制度の活用を促進しました。

【プログラムの概要】

より多くの団体が多くの取組みを通じて、東京2020大会とつながる仕組み



～三井選手を応援する会～

リオデジャネイロ2016オリンピック シンクロナイズドスイミングパブリックビューイング

三井梨紗子選手（落合第一小学校卒業）のリオデジャネイロ2016オリンピック出場にあわせて、落合第一地区町会連合会がパブリックビューイングを行いました。地域が一体となって熱い声援を送りました。

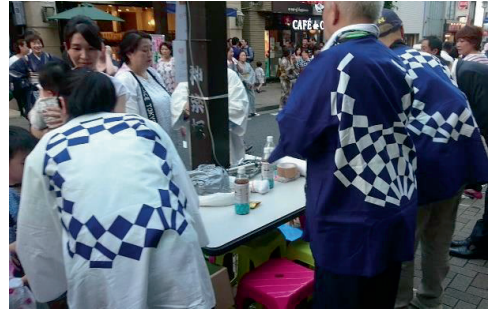
- 【主催】 落合第一地区町会連合会
- 【後援】 新宿区
- 【協力】 宝塚大学（東京メディア芸術学部）
- 【日時】 平成28年8月20日（土）
午前0時～1時45分
- 【会場】 落合第一地域センター
（下落合4-6-7）
- 【参加者数】 約100名



深夜にもかかわらず多くの人が駆けつけ、銅メダル獲得の瞬間は歓声が上がりました。

(2) 東京2020大会に向けた地域活動の支援

東京2020大会に向けた地域活動を支援するために、町会・自治会、商店会等の区内地域団体に東京2020はっぴや東京五輪音頭-2020-のCD・DVDの貸出を行ったほか、東京2020うちわを配布し、地域の祭りやイベント等でご活用いただきました。



令和元年度の神楽坂夏まつりでも東京2020はっぴを活用していただきました。

(3) 新宿区東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画事業助成

東京2020大会が将来にわたって区民の記憶に残るものとするために、大会の気運醸成又は継承に資する自主的な活動に助成することを目的として、平成30年度末に創設した「新宿区東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金」を原資とした事業助成を行いました。

令和元年度及び令和3年度に、区内の団体が実施する38事業に助成しました。

【区民参画事業助成実績】

※詳細は資料集P.102参照

- ・令和元年度 22事業
- ・令和3年度 16事業 (計38事業)

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い助成事業を中止しました。

【助成事業の一例】

ゆげじい五輪祭り (申請団体：東京都公衆浴場業生活衛生同業組合新宿支部)

提灯を聖火に見立て、区内各地域の名所を巡りながら区内21軒の銭湯間を聖火リレーならぬ提灯リレーするウォーキングイベントを行いました。

各銭湯にオリンピック競技の顔出しパネルを設置したり、ポッチャのルール説明チラシを配布し、東京2020大会のPRを行いました。

また、提灯リレー最終日には、東京五輪音頭-2020-の振付講習会を行いました。



提灯リレー最終日は新宿スポーツセンターにゴールしました。

うちわでおもてなしプロジェクト (申請団体：新宿区立西新宿小学校PTA)

西新宿小学校の小学校6年生 (令和元年度) が東京2020大会への期待や西新宿のまちの伝統をテーマにデザインしました。

西新宿エリアの商店街や区内施設、新宿中央公園などで配布し、大会に向けた気運醸成につなげました。



外国人にも魅力が伝わるよう英語の説明文も工夫しました。

(4) 各地区における取組み

令和元年度には、新宿区内10地区において、各地区の特色を生かした大会気運醸成事業を行いました。

※なお、令和元年台風19号の接近に伴い「落一町連大運動会」が中止となったほか、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「戸塚ふれあいポッチャ大会」及び「東京2020オリンピック・パラリンピックを盛り上げよう！in落合さくらまつり」が中止となりました。

四谷

◆陸上競技シルエットシールをめぐる四谷スタンプラリー

四谷地域の3施設の壁面に、世界記録が体感できる陸上競技シルエットシールを展示しました。

また、3会場をめぐるスタンプラリーを実施し参加者200名に東京2020マスコットのボールペンやミニタオルをプレゼントしました。

【期間】令和元年9月中旬～

※スタンプラリーは10月1日～31日

【会場】四谷区民センター（内藤町87）

四谷ひろば（四谷4-20）

四谷保健センター（四谷三栄町10-16）

【参加者数】約1,000名



四谷区民センター正面入口の陸上競技シルエットシール

◆「新国立競技場をもっと知って東京2020大会を楽しもう！」

国立競技場を管理する独立行政法人日本スポーツ振興センターの職員による講演と、三井梨紗子氏を交えたトークセッションを行いました。

第2部では、チェンバー・フィルハーモニック東京（指揮者：木村康人氏）による音楽会を開催し、さまざまな国の音楽やオリンピックに関係の深い曲が演奏されました。

音楽会の終盤は、四谷第六小学校5年生の児童がコカリナ演奏で共演しました。

【日程】令和2年2月1日(土)

【会場】四谷区民ホール（内藤町87）

【参加者数】約300名



(第一部)トークセッション



(第二部)出演者全員での記念撮影

筆筍町

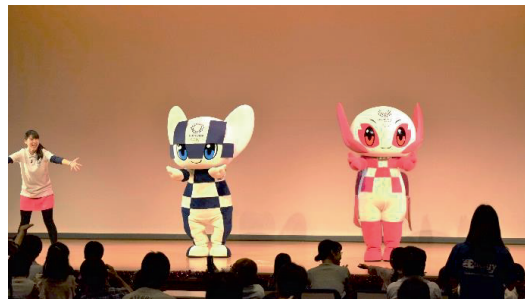
◆筆筍deダンス！～2020応援ソングパブリカに合わせて筆筍で東京2020マスコットと踊ろう～

東京2020マスコットによるダンスや握手会、パラリンピック競技紹介パネル展示を行いました。

【日程】令和元年9月29日(日)

【会場】牛込筆筍地域センター（筆筍町15）

【参加者数】455名



大会マスコットの登場に会場は大興奮！来場者はマスコットと一緒に「パブリカ」を踊り盛り上がりました。

◆大型サイネージによる情報発信

65インチデジタルサイネージを設置し、大会開催までのカウントダウンのほか、筆筍町PR動画を作成し、放映しました。

榎町

◆オリジナルPR扇子作成事業「人にやさしいまち えのき」

榎町地域の特性や魅力をPRする内容の扇子を作成し、東京2020マスコットのクリアファイルとともに、榎町特別出張所で転入の手続きをした方々に配布しました。

扇子の盤面には、穴八幡宮の流鏝馬や漱石山房記念館等、榎町の豊かな文化資源が載っています。

【期間】令和元年7月1日～令和2年3月末



榎町地域の特性や魅力をPRした扇子

若松町

◆2020夏にメッセージを届けよう♪「わかまつポスト」

東京2020大会開会式の日（大会延期前の日程）の自分に宛てて、メッセージを書いていたイベントを開催しました。お預かりしたはがきは、1年後の2020年夏に配達されました。

【期間】令和元年7月24日(水)～9月30日(月)

【会場】若松町特別出張所（若松町12-6）

【参加者数】673名



大切な思いを乗せて投函したはがきは、1年後に届けられました。

また、8月31日に若松地域センターで、新宿未来特使鉄腕アトムとの記念撮影や絵手紙教室等のイベントを行いました。

大久保

◆東京2020大会に向けた清潔できれいなまちづくり支援事業

大久保・百人町地区クリーン活動協議会の主催で行われている清掃活動の参加者が、東京2020エンブレム入りのビブスを着用して清掃活動を実施しました。

【日程】令和元年7月以降の毎月第四木曜日

【会場】大久保通りほか



地域住民や留学生ボランティア等による活動を通じて、より一層地域の結束が強まりました。

戸塚

◆東京染小紋風呂敷クロス展示

令和元年7月から東京2020パラリンピック大会終了まで、戸塚地域センター1階で、東京染小紋風呂敷（東京2020エンブレムに用いられた市松模様の風呂敷クロス）を展示し、大会と地場産業である染色業をPRしました。

◆戸塚地域センターまつりにおけるクイズラリー

戸塚地域センターまつりでオリンピック・パラリンピックに関するクイズラリーを実施。参加者には東京2020マスコットのキーホルダーをプレゼントしました。

【日程】令和元年9月22日(日)

【会場】戸塚地域センター（高田馬場2-18-1）

【参加者数】約300名



戸塚地域センターの側を流れる神田川沿いでは染色業が盛んであり、現在でも染工房が点在しています。

落合第二

◆ボッチャdeバリフリ

〇2（落二地域クラブ、地区スポーツ交流推進委員会、落二中地区居場所事業協議会）によるボッチャ体験会を行いました。

【日程】令和元年9月21日(土)

【会場】落合第五小学校体育館（上落合3-1-6）

【参加者数】38名

◆落合第二地域センターまつりでの大会PR

来場者した子どもたちへ、東京2020マスコットのなわとびのプレゼントを通じた大会PRを行いました。

【日程】令和元年11月10日(日)

【会場】落合第二地域センター（中落合4-17-13）



ボッチャdeバリフリでは幅広い世代の方々がボッチャを楽しみました。

柏木

◆パラスポーツ体験 in フレンドカフェ

柏木地域センターのフレンドカフェにスポーツコーナーを設け、ボッチャや競技用車いすの体験イベントを行いました。

【日程】令和元年8月21日(水)

【会場】柏木地域センター（北新宿2-3-7）

【参加者数】137名

◆柏木地区コミュニティスポーツ大会

ビーチボールバレー、ユニカール、輪投げ、玉入れ、ボッチャ等のスポーツ大会を行いました。オリンピックの星奈津美氏が、準備体操の指導、ユニカールやボッチャへの参加、賞品のプレゼンターなど1日を通し参加しました。

【日程】令和元年11月10日(日)

【会場】西新宿中学校（西新宿8-2-44）

【参加者数】335名

◆新宿かしわまつり

オリンピックの星奈津美氏と司会の井上優氏（声優）による競泳やスポーツに関するトークショーを行いました。小・中学生による東京五輪音頭-2020-のダンス披露なども行いました。

【日程】令和元年11月17日(日)

【会場】柏木地域センター（北新宿2-3-7）

【参加者数】182名



オリンピックの星奈津美氏も参加者と一緒に競技に参加しました。

角筈

◆ミライトワ・ソメイティと踊ろうatつのはず

角筈わいわいまつりにおいて、東京2020マスコットによるダンスや握手会を実施しました。

【日程】令和元年12月1日(日)

【会場】角筈区民ホール（西新宿4-33-7）

【参加者数】230名

◆大型サイネージによる情報発信

65インチデジタルサイネージを設置し、大会開催までのカウントダウンのほか、角筈PR動画を作成し、放映しました。



イベント当日の様子は、65インチデジタルサイネージにて放映しました。

◆陸上競技シルエットシールの掲出

令和元年9月から角筈地域センターに競技の記録を体感できる陸上競技棒高跳びのシルエットシールを設置しました。大会後も引き続き掲出しています。